

## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場会社名 日本ライフライン株式会社  
 コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鈴木 啓介  
 (氏名) 山田 健二

上場取引所 東  
 TEL 03-6711-5200

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,744	12.7	647	336.8	624	256.6	979	—
27年3月期第1四半期	5,986	1.8	148	△57.4	175	△54.7	15	△91.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 947百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 16百万円 (△92.2%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	95.10	—	—	—
27年3月期第1四半期	1.48	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	32,396	—	14,058	—	43.4	—
27年3月期	33,163	—	15,385	—	46.4	—

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 14,058百万円 27年3月期 15,385百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	14,146	15.4	966	44.3	984	34.1	1,106	286.8	112.88
通期	29,584	15.1	2,785	51.0	2,829	38.9	2,171	93.1	227.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	11,302,497 株	27年3月期	11,302,497 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,000,626 株	27年3月期	500,593 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	10,301,882 株	27年3月期1Q	10,801,956 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	6
4. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	11
5. 補足情報 .....	12
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (売上高について)

当第1四半期連結累計期間の販売実績といたしましては、リズムデバイスにおきまして、本年3月にMRI（磁気共鳴画像）検査に対応した心臓ペースメーカーの販売を開始したことにより、販売数量が回復基調へ転じ、前年同期を上回る実績となりました。また、EP/アブレーションおよび外科関連におきましては、本年4月に外科関連の一部商品における保険償還価格の引き下げが実施された影響を受けたものの、オンリーワン製品をはじめとする自社グループ製品が好調に推移し、引き続き業績を牽引いたしました。その一方でインターベンションにおきましては、前期末に一部の仕入商品の販売を終了したことにより、前年同期に比べ売上高が減少いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は67億4千4百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

<品目別売上高>

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	増減率
リズムデバイス	1,077	1,349	25.2%
EP/アブレーション	2,698	3,057	13.3%
外科関連	1,334	1,568	17.6%
インターベンション	624	504	△19.1%
その他	252	264	4.6%
合計	5,986	6,744	12.7%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカー、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル、心腔内除細動カテーテル、高周波心房中隔穿刺針
外科関連	人工血管、オープンステントグラフト、ステントグラフト、人工心臓弁、人工弁輪
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、貫通用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

## (リズムデバイス)

心臓ペースメーカーにおきましては、本年3月より、一定の条件下でMRI（磁気共鳴画像）検査が可能な心臓ペースメーカー「KORA100（コーラ100）」の販売を開始いたしました。MRI対応商品の導入が他社に比べ遅れていたことから、心臓ペースメーカーの販売数量は減少しておりましたが、MRI対応商品の寄与により前年同期を上回る販売数量となりました。引き続き「KORA100」のシェア拡大に向け、一層の拡販に取り組むとともに、第4四半期に上市を予定している全身のMRI検査が可能な新商品「KORA250（コーラ250）」の速やかな導入に向けた準備に取り組んでまいります。

ICD（植込み型除細動器）関連につきましては、厳しい競争環境の中、前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。なお、ICD関連におきましては、現行商品に比べてコンパクトな新商品の第4四半期の上市を計画しております。

以上により、リズムデバイスの売上高は13億4千9百万円（前年同期比25.2%増）となりました。

## (EP/アブレーション)

EPカテーテルにおきましては、心房細動におけるアブレーション治療の症例数が増加していることから、当該治療に使用される心腔内除細動システムの専用カテーテルであり、当社のオンリーワン製品である「BeeAT（ビート）」の販売数量が増加したことに加え、アブレーション治療の安全性を高めるために用いる医療機器であり、本年4月より販売を開始した食道温モニタリングシステム用カテーテル「Esophastar（エソファスター）」が伸びてまいりました。

た。

アブレーションカテーテルにおきましては、競合製品の影響により前年同期に比べ販売数量が減少したものの、第2四半期には、新製品であるイリゲーション機能付きアブレーションカテーテル「Bernoulli (ベルヌーイ)」の上市も予定されていることから、引き続き販売数量の増加に努めてまいります。

さらにオンリーワン商品である高周波心房中隔穿刺針「RFニードル」につきましても、心房中隔穿刺術における新たな選択肢として医療現場への浸透が進んでおり、業績へ寄与いたしました。

以上により、EP/アブレーションの売上高は30億5千7百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

#### (外科関連)

人工血管関連におきましては、昨年7月より販売を開始したオンリーワン製品である「J-Graft (ジェイ・グラフト) オープンステントグラフト」が、開胸手術を伴う胸部大動脈瘤治療の低侵襲化に寄与する医療機器として、高く評価されており、引き続き伸長いたしました。また、人工血管につきましても堅調に推移したものの、カテーテルを用いて治療を行うステントグラフトにつきましては、保険償還価格が昨年より段階的に引き下げられており、本年4月にも引き下げが行われ、前年同期に比べ売上高は減少しました。これらのことから、人工血管関連全体としての売上高は前年同期に比べ47.9%の増加となりました。

人工弁関連におきましては、主力である生体弁について、ステントグラフト同様に本年4月にも保険償還価格の引き下げが行われたことに加え、競合製品の影響により販売数量が減少したことにより、前年同期に比べ売上高が減少いたしました。なお、生体弁につきましては、耐久性を高めるために抗石灰化処理を施した新商品である「CROWN (クラウン)」の本年末の上市を目指し準備を進めております。

以上により、外科関連の売上高は15億6千8百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

#### (インターベンション)

バルーンカテーテルにおきましては、従来の取扱商品から、昨年導入した初の自社製品である「canPass (キャンパス)」および、拡張力が高いタイプの仕入商品である「Pantera LEO (パンテラ・レオ)」への切り替えが進んだことから、販売数量は微増に留まったものの利益率が改善いたしました。

ガイドワイヤーにおきましては、参入企業間の競争が厳しい状況が続いていることから、前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。

また、その他の品目では、冠動脈の狭窄部における治療機器の通過をサポートし、手技の効率化を可能とする貫通用カテーテル「Guideliner (ガイドライナー)」の販売数量が増加いたしました。血管内異物除去用カテーテルの販売を前期末で終了した影響を吸収することはできず、インターベンションにおけるその他の売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

以上により、インターベンションの売上高は5億4百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

#### (その他)

連結子会社で販売する血液浄化関連商品等のその他の売上高は2億6千4百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

#### (損益について)

##### ①営業利益

オンリーワン製品を中心に収益性の高い自社グループ製品が伸長し、売上構成比が上昇したことに加え、製造原価の低減等により、売上総利益率は前年同期に比べ5.3ポイント改善いたしました。その一方で、新商品の導入に伴う治験費用や検査費等の増加により、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ増加したことから、当第1四半期連結累計期間の営業利益は6億4千7百万円（前年同期比336.8%増）となりました。

##### ②経常利益

受取利息及び為替差益をはじめとする営業外収益を8千4百万円、自己株式取得に係るシンジケートローン手数料等を営業外費用として1億6百万円計上したことから、当第1四半期連結累計期間の経常利益は6億2千4百万円（前年同期比256.6%増）となりました。

③親会社株主に帰属する四半期純利益

本年4月22日付の「投資有価証券売却益(特別利益)の計上に関するお知らせ」にて開示しております投資有価証券売却益を特別利益として10億2千8百万円計上した一方で、子会社工場の閉鎖に伴う固定資産除却損6千3百万円を特別損失として計上したことから、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は9億7千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結貸借対照表に関する分析)

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べ6億2千5百万円減少し、231億6千4百万円となりました。これは主として、たな卸資産が13億2百万円増加した一方で、未収入金の減少を主たる要因として、その他が17億6千1百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1億4千1百万円減少し、92億3千2百万円となりました。これは主として投資その他の資産が1億3千8百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末から7億6千6百万円減少し、323億9千6百万円となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末に比べ7億6千6百万円減少し、122億5千1百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が14億1千5百万円減少した一方で、借入金が増加した8億8千万円増加したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ13億2千6百万円増加し、60億8千5百万円となりました。これは主として自己株式公開買付け資金として長期借入金を実行したことにより、13億2千7百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末から5億5千9百万円増加し、183億3千7百万円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ13億2千6百万円減少し、140億5千8百万円となりました。これは主として自己株式が19億5千万円増加したこと、及び、剰余金の配当を3億2千4百万円実施したこと、並びに、親会社株主に帰属する四半期純利益を9億7千9百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、販売状況につきまして、一部商品における進捗が計画を下回っておりますものの、全般的には概ね堅調に推移しており、また、売上高に占める自社グループ製品の構成比が上昇したことから、売上総利益は概ね計画の範囲内となりました。

また、販売費及び一般管理費におきましては、新商品の導入費用として計画している治験費用や検査費等の予算執行に遅れがあることから、営業利益以下の各段階利益につきましては計画を上回っておりますものの、当該費用につきましては第2四半期以降に執行される見通しであることから、平成27年4月30日に開示した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,539	2,847
受取手形及び売掛金	7,967	8,024
有価証券	406	—
たな卸資産	9,784	11,087
繰延税金資産	435	309
その他	2,657	895
流動資産合計	23,789	23,164
固定資産		
有形固定資産	5,828	5,844
無形固定資産		
のれん	77	58
その他	37	37
無形固定資産合計	114	95
投資その他の資産		
その他	3,487	3,348
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	3,430	3,291
固定資産合計	9,373	9,232
資産合計	33,163	32,396
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,061	2,646
短期借入金	4,870	5,370
1年内返済予定の長期借入金	1,430	1,810
未払金	854	890
未払法人税等	449	515
賞与引当金	42	387
役員賞与引当金	13	—
その他	1,296	630
流動負債合計	13,018	12,251
固定負債		
長期借入金	1,957	3,284
長期未払金	158	158
繰延税金負債	12	9
役員退職慰労引当金	297	251
退職給付に係る負債	1,883	1,896
その他	449	484
固定負債合計	4,759	6,085
負債合計	17,778	18,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115	2,115
資本剰余金	2,328	2,328
利益剰余金	11,363	12,018
自己株式	△351	△2,301
株主資本合計	15,454	14,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	△8
為替換算調整勘定	36	29
退職給付に係る調整累計額	△130	△122
その他の包括利益累計額合計	△69	△101
純資産合計	15,385	14,058
負債純資産合計	33,163	32,396

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	5,986	6,744
売上原価	2,911	2,918
売上総利益	3,075	3,825
販売費及び一般管理費	2,927	3,178
営業利益	148	647
営業外収益		
受取利息	3	23
受取配当金	0	0
業務受託料	30	—
為替差益	—	32
その他	18	29
営業外収益合計	51	84
営業外費用		
支払利息	9	10
為替差損	8	—
自己株式取得費用	—	27
シンジケートローン手数料	—	62
その他	6	7
営業外費用合計	24	106
経常利益	175	624
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	1,028
特別利益合計	0	1,028
特別損失		
固定資産除却損	3	63
投資有価証券評価損	15	—
その他	0	—
特別損失合計	19	63
税金等調整前四半期純利益	156	1,589
法人税、住民税及び事業税	8	472
法人税等調整額	132	136
法人税等合計	140	609
四半期純利益	15	979
親会社株主に帰属する四半期純利益	15	979

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	15	979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△32
為替換算調整勘定	1	△7
退職給付に係る調整額	3	7
その他の包括利益合計	0	△31
四半期包括利益	16	947
親会社株主に係る四半期包括利益	16	947

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月24日付で公開買付けにより自己株式を取得いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が1,950百万円(1,500千株)増加し、その他の増加と併せて、当第1四半期連結会計期間末の自己株式は、2,301百万円(2,000千株)となっております。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、主な販売先は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであり、著しい変動はありません。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
EP/アブレーションカテーテル類	916	917
外科関連	98	162
インターベンション	291	198
その他	212	172
合計	1,518	1,450

(注) 1 金額は製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

## ③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであり、著しい変動はありません。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
リズムデバイス	1,077	1,349
EP/アブレーション	2,698	3,057
外科関連	1,334	1,568
インターベンション	624	504
その他	252	264
合計	5,986	6,744

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。